

県民へのアピール

6月17日未明、静岡県石廊崎沖において米軍横須賀基地配備のイージス艦が引き起こした衝突事故は、県民に大きな衝撃と不安を与えました。

しかし直視すべきは、これまでも米軍が絡む事故、犯罪が起こるたびに、抗議し、再発防止を求めてきましたが、根本的解決に至っていないという現実です。

主権を取り戻し、県民の命と暮らしを守るためには、日米地位協定の抜本改定を実現することが決定的に必要となっています。

私たち集会参加者一同は、渉外知事会を前にして、黒岩知事が昨年来県民に約束してきた地位協定改定の「県の独自試案」に、主権が行使できる内容を盛り込むよう要請しました。

さらにそこにとどまらず、県民世論を興し、県民運動の先頭に立ち、それを背景に国に強力に働きかけるよう要請しました。これまでも渉外知事会などで改定案が出されてきましたが、70年経ってもなお一言半句も改定されていないのは、県民運動との結びつきが弱かったから、と考えるからです。

よって私たちは、県民の皆さんに呼びかけます。

「第二の基地県・かながわ」から日米地位協定の抜本改定を実現する県民運動のうねりをつくりだすために立ち上がろう、と。

その条件は広がっています。神奈川新聞社が昨年7月参議院選挙前に実施した世論調査によれば、県民全体で74・8%が「改定すべき」と答え、自民党支持者の中でさえ69・1%がそう答えています。

昨年、県下7市4町1村議会で、改定を求める意見書が採択されました。

労働組合の連合も、今年のメーデーで「日米地位協定の見直し・米軍基地の整理・縮小」をサブスローガンに掲げ、「平和学習会」を持ち、年次大会では「平和ビジョン」を策定しようとしています。

学者、青年学生、女性の皆さん！ 議員、首長の皆さん！ 労働組合、中小自営業者、農業者の皆さん！

声をあげ力を合わせ、日米地位協定抜本改定に向け、県民運動のうねりをつくり出しましょう！

この運動は人権を守り、主権を取り戻す正義の運動です。沖縄県民の島ぐるみの闘いと連帯し、結びつくことによって、国を動かすに違いありません。

2017年7月28日

「米イージス艦衝突抗議！ 黒岩知事は主権を行使できる独自案を！

神奈川から日米地位協定抜本改定のうねりを！

---人権を守り、主権を取り戻す県民集会---」参加者一同